

記入例

様式第17（第33条関係）

捨印

迅速に手続きを完了するため、
できれば押印してください。

第2面も忘れずに提出してください
中核SSの場合第4面（必須）第5
面（該当がある場合）も提出してく
ださい

（第1面）

石油販売業開始届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

事業開始前に提出してください

・住所について、法人の場合は謄本などで登記されている住所、個人の場合、住民票上の本人の住所を記載してください。

・主たる事務所の所在地について、実際に本社業務を行っている住所を記載してください。通常は届出者の住所と同じですが、登記上の本社住所と別の場所に石油販売業の部門がある場合などはその所在地を記載してください。

・主たる事務所の所在地を管轄する経済産業局に提出してください。（正1部、写2部）

届出者 商号、名称 〇〇株式会社
氏 名 代表取締役 〇〇 〇〇
（法人にあつては、代表者の氏名）
住 所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

代表者
印

個人の場合
は実印

石油販売業を次のとおり行いたいので、石油の備蓄の確保等に関する法律第27条第1項の規定により、届け出ます。

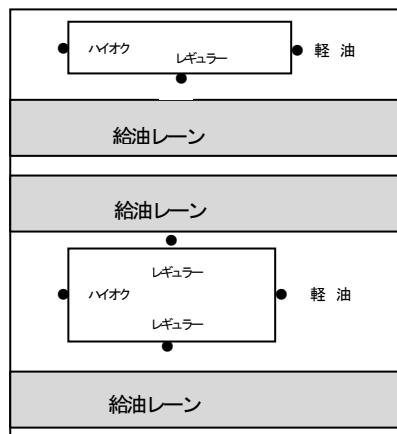
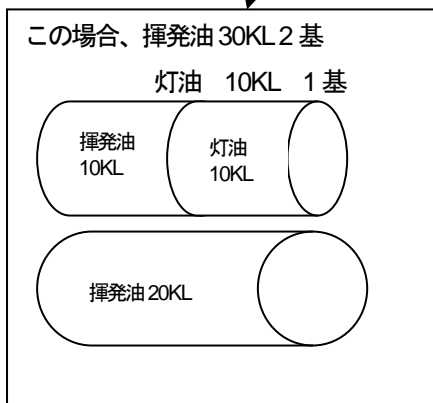
1 主たる事務所の所在地	(郵便番号〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇〇 電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇
2 営業所の所在地	
名 称	所 在 地
〇〇給油所	(郵便番号〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇〇 電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇
	(郵便番号) 電話番号 () -
	(郵便番号) 電話番号 () -

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

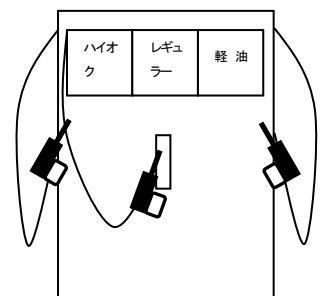
2 「営業所」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第1面の次に添付すること。

3 主たる販売施設の概要			
営業所の名称	○○給油所 ○○給油所、○○貯蔵所等		
貯蔵設備・計量器 (可搬式も含む。)			
貯蔵設備等がない場合は欄を斜線で抹消してください。			
(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数
a 揮発油	KL	基	基
b 灯油	KL	基	基
c 軽油	KL	基	基
d			基
e			基
「タンク基数」は1タンクを中仕切りで仕切っているような場合、それぞれの油種を1基とみなします。「計量器数」は同時給油できるノズルの本数とします。			
営業所の名称			
貯蔵施設・計量器 (可搬式も含む。)			
(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数
a 揮発油	KL	基	基
b 灯油	KL	基	基
c 軽油	KL	基	基
d	KL	基	基
e	KL	基	基
4 主たる仕入先	○○石油株式会社	元売名や卸業者など	
5 販売しようとする石油の種類	揮発油、灯油、軽油	原油、揮発油、灯油、A～C重油、液化石油ガスなど。潤滑油、アスファルト、グリース等については届出対象外	
6 事業開始予定時期	平成○○年○○月○○日		

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 - 2 「主たる販売施設の概要」は営業所ごとに記載すること。
 - 3 「主たる販売施設の概要」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第2面の次に添付すること。



左記のような給油機の場合、揮発油3基、軽油2基でカウント。



(特定石油販売業者のみ記載)

7 密接な関係を有する石油精製業者の商号、名称又は氏名			
8	第3面は年間の石油の販売量が250万キロリットル以上で、石油精製業者と密接な関係がある「特定石油販売業者」が提出されるもので、それ以外の販売業者は不要です。		
名			
石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力			
名 称		所在地	電話番号 () -
石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力			

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「貯蔵施設」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第3面の次に添付すること。

(法第27条第1項第5号の石油販売業者のみ記載)

9 営業所の給油設備の規模

営業所の名称	〇〇給油所		
給油設備のレーン数		揮発油の同時給油可能台数	→ 4
給油設備に用いる自家発電機の容量	KVA		
営業所の名称			
給油設備のレーン数			
給油設備に用いる自家発電機の容量	KVA		

10 災害が発生した場合における営業所の状況の確認を受けるための電話番号その他の連絡先

営業所の名称	〇〇給油所		
電話番号その他の連絡先	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇 abcde@co.jp		
営業所の名称			
電話番号その他の連絡先			

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 - 2 「営業所」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第4面の次に添付すること。
 - 3 「電話番号その他の連絡先」欄には、電話番号、電子メールアドレス等の事項を複数記載すること。

中核 SS でタンクローリーを有している場合に添付してください

(第5面)

(法第27条第1項第5号の石油販売業者で、指定石油製品の輸送の用に供するタンクローリーを有している場合のみ記載)

11 営業所ごとの指定石油製品の輸送の用に供するタンクローリーに関する事項

営業所の名称	〇〇給油所
--------	-------

タンクローリーの数	1台
-----------	----

指定石油製品の種類	揮発油、軽油、灯油 等
-----------	-------------

最大容量	(1,800 リットル 300リットル× 6室)
------	------------------------------

設置場所	〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3
------	----------------

指定石油製品の種類	
-----------	--

最大容量	(リットル× リットル 室)
------	--------------------

設置場所	
------	--

営業所の名称	
--------	--

タンクローリーの数	台
-----------	---

指定石油製品の種類	
-----------	--

最大容量	(リットル× リットル 室)
------	--------------------

設置場所	
------	--

指定石油製品の種類	
-----------	--

最大容量	(リットル× リットル 室)
------	--------------------

設置場所	
------	--

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
2 「営業所」、「タンクローリー」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第5面の次に添付すること。